

被災後の生活と健康 ～お口の健康も大切です！～

人生80年のうち「自然災害で避難しなければいけない」確率は、どのくらいあると思いますか？なんと！4人に1人だそうです。被災したときには、必要に応じて安全を確保できる場所に避難して生活することとなります。

しかし、被災地域の生活環境が戻るには時間がかかります。水や食糧は備蓄していたとしても、電気や水道、ガスなどが使えないと、手も洗えなければトイレも使えず、調理や冷蔵もできず、さらには室温の調整もできません。それが何日も続き、そして普及の目途もわからないとなると、身も心も疲れてきてしまいます。

被災したとしても健康を保つためには、どうすればいいのでしょうか？(1)災害で被害を受けないようにする工夫、(2)災害時に避難するときの工夫、そして、(3)避難生活の中でも健康を保つための工夫、を整理してみましょう。そして、お住まいの場所や建物、家族の状況や移動手段などを踏まえて、できる工夫から少しずつ、被災した時に後悔することにならないように準備していきましょう。

日時

2024年12月15日(日)

受付 14:00

講演 14:30~16:40

受講料無料！定員100名
お申し込みはお早めに！

手話通訳あり

場所

鹿沼市民情報センター5階マルチメディアホール
(栃木県鹿沼市文化橋町1982番地18)

講師

中久木 康一(なかくき こういち)先生
(東北大学 大学院 歯学研究科 特任講師)



- 1998年3月 □ 東京医科歯科大学歯学部 卒業
- 2002年3月 □ 東京医科歯科大学歯学部大学院歯学研究科 修了
- 2003年4月 □ 静岡市立静岡病院口腔外科 専攻研修医
- 2004年4月 □ 北里大学病院形成外科 非常勤医師
- 2006年4月 □ 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員
- 2009年4月 □ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野 助教
- 2021年4月～ 東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 非常勤講師
- 2024年3月～ 東北大学 大学院 歯学研究科 国際連携推進部門 世界展開力強化事業推進室 特任講師
(兼務:東北大学 大学院 歯学研究科 災害・環境医学研究センター)

共催

鹿沼市 (一社) 鹿沼歯科医師会

後援

(一社) 栃木県歯科医師会 鹿沼市教育委員会 下野新聞社
鹿沼地区介護支援専門員連絡会 鹿沼歯科衛生士会
鹿沼地区の在宅医療と介護を考える会 鹿沼市老人クラブ連合会

申し込み先

鹿沼市健康課 63-8312
鹿沼市介護保険課 63-2286

【申込書】

市民公開講座【R6. 12. 15】
健康課または介護保険課にお持ちいただいても、
お電話でも結構です。 12. 13申込〆切

ご住所	
ご氏名	

【案内図】

